

講演会・カンファランス等のご案内

北九州地区小児科医会のご案内

第556回（第7回北九州ワクチンフォーラム合同）

日時：2019年5月14日（火） 19:00～20:15
場所：北九州市立商工貿易会館 2階多目的ホール
演題：「百日咳の現状とワクチン対策」
演者：福岡看護大学 基礎・基礎看護部門 基礎・専門分野
教授 岡田 賢司 先生

第557回北九州地区小児科医会6月例会

日時：2019年6月17日（月） 19:30～20:30
場所：小倉医師会館 4階
演題：「小児消化器肝臓病の最前線
～黄疸と血便のみかたから最新治療まで～」
演者：久留米大学小児科 講師 水落 建輝 先生

その他講演会などのご案内

第421回小倉小児科医会臨床懇話会

日時：2019年5月23日（木） 19:00～
場所：国立病院機構小倉医療センター地域医療研修センター
演題1：「発達障害からの不適応が原因と考えられた
解離性障害の女児例」
演者：国立病院機構小倉医療センター
小児科 安永 由紀恵 先生
演題2：「母の再婚を契機に愛情遮断症候群による
成長停止をきたした AD/HD の女児例」
演者：国立病院機構小倉医療センター
小児科 緒方 怜奈 先生

産業医科大学カンファランス・セミナー

産業医科大学小児科クリニカルカンファレンス（終了）

日時：2019年5月13日（月） 19:00～
場所：産業医科大学大学2号館2階 2208教室
演題：急性脳症の診断と治療
演者：産業医科大学小児科 石井 雅宏 先生、福田 智文 先生
五十嵐 亮太先生、柴原 淳平 先生

産業医科大学小児科クリニカルカンファレンス

日時：2019年6月10日（月） 19:00～
場所：産業医科大学大学2号館2階 2208教室
演題：ヌーナン症候群関連骨髄増殖性疾患と
考えられた新生児例
演者：産業医科大学小児科 川瀬 真弓 先生、守田 弘美 先生
荒木 俊介 先生

産業医科大学小児科セミナー

日時：2019年6月27日（木） 18:00～
場所：産業医科大学大学2号館2階 2208教室
演題：小児の慢性甲状腺炎
～典型的な症例から多様な病態を呈する症例を通して～
演者：産業医科大学小児科 島本 太郎 先生、齋藤 玲子 先生
山本 幸代 先生、河田 泰定 先生

保険診療メモ

九州小児科審査員連絡協議会の報告

毎年、九州医学会（九州小児科学会）の期間中に、九州各県の保険審査員で構成する九州小児科審査員連絡協議会が開催されます。昨年は11月17日に鹿児島市で第24回目の会議が行われました。この際に各県でほぼ合意が得られたものの中から重要と思われるものをご紹介します。例年ですと協議済みとなる事項が多く、本稿では2回に分けて紹介していましたが、昨年は深く掘り下げた検討が行われた結果、決定数が少なく保険診療メモは1回のみ（27件のQ&A）です。

また、多くの時間を費やした小児抗菌剤適正使用支援加算は、当県では保険診療メモで約3回にわたり詳述したため本稿では割愛しています。また、入院で問題となる小児療養環境特別加算の適応疾患の統一化については継続審議となり結論は得られませんでした。しばらくは個別の対応となります。

1, 基本診療料・管理料など (5件)

Q-1: 同列同様な皮膚科疾患名での初診料の算定は認められるか? 例えば、乳児湿疹・皮脂欠乏症・アトピー性皮膚炎・乾燥性皮膚炎・掻痒疹

A-1: 上記のうち、アトピー性皮膚炎は慢性疾患であり、短期の治癒は認められない。皮脂欠乏症については外用剤の処方量や内服薬の投与日数にもよることから個別の対応となる

Q-2: 小児療養環境特別加算の適応疾患について。ヒトメタニューモウイルス感染症、ステロイド剤内服中のネフローゼ症候群は?

A-2: 現在小児療養環境特別加算ワーキンググループで種々検討中。上記疾患に関しては認める

Q-3: 溶連菌感染後の検尿の初診料算定について

A-3: 過去何度も検討されてきたが、認められない。再診料で請求

Q-4: 小児カウンセリング料の算定が起算日より2年間となっているが、病名を変更した場合にどの程度の関連性は許容されるのか?

A-4: 全く異なる疾患であれば算定は可能だが、同類病名で指導内容を変更では2年を超せば算定不可

Q-5: 精密持続点滴注射加算について。1歳未満の場合には無条件で認められるか? 抗悪性腫瘍剤は該当する薬剤か?

A-5: 1歳未満は無条件で認める。福岡県では局所持続注入に限らず、抗悪性腫瘍剤の点滴静注でも全科の申し合わせで認めている

2, 検査 (16件)

Q-1: 蟯虫症では虫卵検出(15点)、糞便塗抹顕微鏡検査(20点)どちらで請求するのか?

A-1: どちらでも認められるが、福岡市医師会発行の検査案内では後者で請求するように記載されている

Q-2: 先天性代謝異常の検査でプロピオン酸血症が確定した患者に対する遺伝子検査(D006-4)は認められるか?

A-2: 認める

Q-3: 起立性低血圧での負荷心電図加算は

A-3: 認める

Q-4: 培養検査について。

(1) 嫌気性菌感染が考え難い呼吸器感染時の血培でも嫌気性培養を認められるか?

(2) 細菌培養感受性検査の同日算定は可か?

A-4: 呼吸器感染症の病名だけでは血培は不可。敗血症(疑い)などの傷病名があれば感染巣に関係なく血培の嫌気性培養は認められる。感受性検査との同日算定は原則不可

百日咳診断での検査の範囲は?

Q-5: 同日における百日咳菌核酸検出(D023-8)と各種抗体価(D012-12またはD012-44)の併施

A-5: 抗原と抗体の併施は不可

Q-6: 百日咳抗体価(D012-12またはD012-44)同士のペア血清

A-6: 認められる

Q-7: 百日咳抗体価同士の併施(すなわちD012-12とD012-44の同時検査)

A-7: 認めない。いずれか一方

Q-8: 予防接種投与計画のためと思われる不自然な各種ウイルス抗体価測定について

A-8: 保険診療の適応外で認められない

Q-9: 初診時「おむつ皮膚炎」のみの病名でS-Mの算定は認められるか?

A-9: おむつ皮膚炎のみの病名では認められない

Q-10: ビタミンD欠乏症のみで1.25(OH)2D3は認められるか?

A-10: 青本に請求できる基礎疾患が明記されているので、それらが併記されていない時には算定できない

保険診療メモ

九州小児科審査員連絡協議会の報告

Q-11：クル病（ビタミンD欠乏症）でOC（オステオカルシン）測定は認められるか？

A-11：青本では限定的な適応が記載されていて認められない

Q-12：内分泌疾患、特に副腎皮質酵素欠損症などの定期検査で連月は認められるか？

A-12：通常は2か月か3か月に1回。クリーゼなどのコメントがあれば連月でも認める場合もある

Q-13：リツキサソやレミケードなど免疫抑制剤投与前の「結核関連」への検査の適応範囲は？

A-13：コメントがあれば胸写とツ反は認める

Q-14：白血病治療中のT細胞サブセット検査とT細胞B細胞百分率検査は同時提出でも可か？

A-14：内容が異なるので認める

Q-15：学校検尿の傷病名。要精密検査対象者のコメントがあれば、腎炎（あるいは血尿）の病名でC3やIgAなどは認められるか？ 3歳児健診で発見された場合も同様の扱いとなるか？

A-15：学校検尿については認める。3歳児健診の場合はそれぞれの検査項目の適応病名が必要

Q-16：呼気NO（呼気ガス分析）は気管支喘息で算定できるか？ 疑い例では？ 月何回まで？

A-16：気管支喘息の確定診断例には算定可。経過をみる上でも可だが月1回まで

3, 治療 (3件)

Q-1：パルミコート吸入液とフルタイド吸入用のステロイド2剤併用を認められるか？

A-1：原則認めない。ステップアップ中などの例ではコメントが必要

Q-2：アドエア吸入とフルタイド吸入の併用は？

A-2：認められないのが原則だが、併用の必要性についての詳記があれば考慮する

Q-3：喘息の吸入剤でステロイドにβ刺激薬の入っている吸入薬と、ツロブテロールやホクナリンテープなどのβ刺激薬のテープとの同時処方ダメとする地域が多いが？

A-3：福岡県では詳記なくても認めているが、必要性をコメントすることが望ましい

4, 処置・その他 (2件)

Q-1：喀痰排出困難として急性気管支炎での喀痰吸引の算定を認められるか？

A-1：気管切開患者など、気管内からであれば認められる。栄養チューブなどを使用した下咽頭での吸引は咽頭処置の扱いとなる

Q-2：パルミコート吸入はジェット式ネブライザーでのみ算定可か？

A-2：その通り。懸濁液のため超音波式ネブライザーでは効果がない。また、外来での単回の吸入は吸入ステロイド製剤の使用上の注意（投与開始から2～8日で効果）からして不適切

(福岡県小児科審査員連絡会)

役員会報告 (5月9日：木曜日)

会員異動報告

★相良勝臣先生(中津市：地区外会員)が5月2日にご逝去されました。(享年72歳)会よりご香典をお届けしました。謹んでご冥福をお祈りします。

★勤務医退会 (3/31 付)

【産業医科大学】

森下 高弘

山本 昇

菅 秀太郎

川村 卓

有留 法人

【小倉医療センター】

白水 優光 (福岡市立こども病院)

岩屋 友香 (九州大学病院)

尾川 エレン美智 (山口赤十字病院)

東矢 俊一郎 (九州大学病院)

中尾 慎吾 (九州大学病院)

【JCHO 九州病院】

島袋 渡 (都立小児医療センター腎臓)

川口 直樹 (大分県立病院)

藤井 俊輔 (福岡市立こども病院)

岩屋 悠生 (九州大学病院)

古賀 大貴 (大分県立病院)

足立 俊一 (別府医療センター)

相良 優佳 (大分県立病院)

【北九州市立医療センター】

三井 敬一 (嘉麻赤十字病院)

田中 幸一 (田川市立病院)

武森 渉 (大分県立病院)

【北九州市立八幡病院】

山戸 聡史 (小豆島中央病院)

齊間 貴大 (長野県立こども病院)

齊間 陽子 (松本医療センター)

木下 正和 (国立成育医療研究センター)

杉 海秀 (愛媛大学病院)

後藤 康平 (聖マリア病院)

嘉村 拓朗 (飯塚病院)

★勤務医退会 (4/30 付)

【福岡新水巻病院】

永田 郁子

★勤務医入会 (4/1 付)

【産業医科大学】

河原 風子

神田 里湖

重田 英臣

平川 潤

清水 大輔 (再入会：岩田屋)

【小倉医療センター】

上野 雄司 (大分県立病院)

猿川 滯 (福岡市立こども病院)

檜崎 健太郎 (大分県立病院)

長澤 功多 (佐賀県好生館)

朴 崇娟 (聖マリア病院)

市地 さくら (鹿児島大学病院)

【JCHO 九州病院】

武市 実奈 (福岡市立こども病院)

江崎 大起 (福岡市立こども病院)

土井 大人 (佐賀大学病院)

隈本 大智 (大分県立病院)

花木 由香 (大分県立病院)

坂口 喜彬 (JCHO九州病院総合診療部)

田中 惇史 (JCHO九州病院総合診療部)

【北九州市立医療センター】

倉田 浩昭 (田川市立病院)

末松 真弥 (九州大学病院)

春日井 悠 (産業医科大学病院)

【北九州市立八幡病院】

井手 水紀 (聖マリア病院)

堀川 翔伍 (鹿児島市立病院)

白川 忠信 (福岡新水巻病院)

吉田 峻 (半田市民病院)

松石 登志哉 (再入会：聖マリア病院)

★勤務医移動 (4/1 付)

福田 尚子 (西日本産業衛生会→九州労災病院)

島本 太郎 (九州労災病院→産業医科大学病院)

桑村 真美 (戸畑総合病院→西日本産業衛生会)

田中 健太郎 (健愛記念病院→産業医科大学病院)

五十嵐 亮太 (産業医科大学病院→北九州総合病院)

池上 朋未 (産業医科大学病院→北九州総合病院)

守田 弘美 (産業医科大学病院→健愛記念病院)

役員会報告 (5月9日：木曜日)

協議事項・報告事項

- 1) 福岡県小児科医会役員会
2019年4月13日：九州大学百年講堂
- ①2019年7月6日に第55回総会が久留米市で開催予定
- ②今後の総会は、2019年：筑後→2020年：筑豊
→2021年：宗像→2022年北九州→2023年：福岡
のように順に行われる予定となりました。
- ③本会役員および各地区小児科医会役員による勉強会を年1回
開催することとなっています。
- ④会則の変更について下村会長から提案があり7月の総会で提
出される予定となっています。

委員会報告

1. 学術委員会報告：神菌淳司
7月20日（第4土曜日）は産業医科大学主催です。
8月はお休みです。
2. こども健康ニュース：綾部信彦
2019年夏号No.64 テーマは「食物アレルギー」
最近の考え方にあわせ、経皮感作、経口摂取による耐性獲得や
血液検査の意味合いなどに言及しています。
近日お届けできる予定です。